



## 【目的】 歴史・文化・自然を活かしたまちづくり

地域振興と地域コミュニティの活性化を同時に図る。

## 【現状】 地域コミュニティの希薄化、担い手不足。活かすきれないポテンシャル

東名や新東名へのアクセスの向上をはじめとした都市基盤整備が進められ、地域の発展に向けた高いポテンシャルを備える原地区において、地区に存する貴重な歴史・文化・自然を十分に活かしてまちづくりやにぎわいづくりを進めることが、地域振興を図るうえで課題となっている。また、地域コミュニティに目を向ければ、その希薄化や担い手不足などといった問題も生じている。

## 【活動】 マップ作製と講演会 & 探検隊で原・浮島の魅力を発信！

原・浮島ふるさとマップ作製(5000部) ・案内板2か所貼りかえ



### 原ふるさと探検隊 11/29

「徳源寺」→「昌原寺」→「帯笑園」→「白隠産湯の井戸」→  
「西念寺」→「松蔭寺」→「長興寺」→「清梵寺」→「沼川」



### わがまち原宿・歴史講演会 12/13

講師: 浅田 哲司氏

演題: 白隠さんと文化財—文化財指定とその意義



## 【振り返り課題】

- ・「原ふるさと探検隊」は、募集予定の30名を上回る37名でした。親子での参加者が4組12名あり、半日約3時間の「まち歩き」でしたが地域の歴史を肌で感じる良い機会になったと思います。コロナ禍での開催でしたが次回開催のご希望を多数頂きました。
- ・今後も原地区コミュニティ推進委員会の地域活性化事業の一環として継続開催したいと思います。
- ・「原・浮島ふるさとマップ」についてはイベント時の配布により案内役のボランティアガイドの皆さんは「優しい説明をすることができる。」と好評でした。
- ・新たにQRコードの導入も若い世代にもアピールできました。地域活性化の一助として今後も史跡の見直しなども合わせて、増刷が必要と思われます。
- ・「わがまち原宿・歴史講演会」は「帯笑園」「白隠のみち」「原駅前の整備」により地域の歴史を探るきっかけとなり、今回開催の講演会は「原の白隠さんと松蔭寺」を外部に発信する良い要素となると考えられます。地域内外の方々の交流の場づくりやホームページを利用した観光誘客と地域の活性化を図るためにも継続したテーマの「講演会」の開催も必要と考えられます。